

No.231

おおの

2025.4.25

議会だより

今回の定例会

3月

6月

9月

12月



越前大野城と桜、金森長近公像、越前大野城からの景観

- P 2・3 3月定例会の概要
- P 3 1月臨時会の概要
- P 4～6 代表質問の概要
- P 7～11 一般質問の概要
- P 12 常任委員会審査報告
- P 13・16 特別委員会報告
- P 14・15 議案等の各議員表決

バックナンバーと音声データ
あります

おおのぎかいだより



YouTube /@OnoCityCouncil

大野市議会チャンネル
登録をお願いします



3月 定例会の概要

第443回定例会が2月21日から3月25日までの33日間の会期で開催されました。

今回の定例会では、令和7年度の各会計予算案、令和6年度の各会計補正予算案、条例の制定・改正・廃止、人事案件など全86議案のほか、市会案2件、陳情4件について審議しました。審議結果は、14㊟・15㊟のとおりです。

副議長に廣瀬氏

定例会初日に白崎貴之副議長の辞職に伴う選挙を行い、廣瀬浩司氏を第60代副議長に選出しました。

また、議会運営委員会、各常任委員会の委員を改選し、中部縦貫自動車道等交通対策特別委員会、こども政策・公共施設等改革特別委員会の委員の補充を行いました。

4日目には、大野・勝山地区広域行政事務組合議会議員の補欠選挙で、伊東由起恵氏を選出しました。



廣瀬浩司 副議長
(2期目、65歳)

議会運営委員会	常任委員会		特別委員会	
	総文厚生	くらし産業	中部縦貫自動車道等交通対策	こども政策・公共施設等改革
◎ 山崎利昭 ○ 林順和 笹山晃一 岸本一敏 白崎貴之 木戸屋八代実	◎ 帰山寿章 ○ 白崎貴之 猪嶋清文 木戸屋八代実 山崎利昭 高田育昌 廣田憲徳 高岡和行	◎ 伊東由起恵 ○ 笹山晃一 岸本一敏 林順和 廣瀬浩司 野村勝人 堀田昭一 梅林厚子	◎ 林順和 ○ 猪嶋清文 帰山寿章 山崎利昭 廣田憲徳 梅林厚子 高岡和行	◎ 笹山晃一 ○ 白崎貴之 岸本一敏 木戸屋八代実 廣瀬浩司 伊東由起恵 野村勝人

条例の制定

大野市犯罪被害者等支援条例案

犯罪被害者等基本法に基づき、犯罪被害者等の支援に関し必要な事項を定めました。

可決

市会案

公共施設の除却等に対する支援の強化を求める意見書について

施設機能の集約化・統合化が行われない施設の除却や地方自治体所有の長寿命化改良に適さない、又は再活用が見込めない公共施設等に対する財政支援を求める意見書を政府関係機関に提出することとしました。

可決

人事案件

監査委員（議会選出）の選任について

堀田昭一氏（野中）を選任することに同意しました。

同意

人権擁護委員候補者の推薦について

引き続き、南居光枝氏（上舌）を推薦することに同意しました。

同意

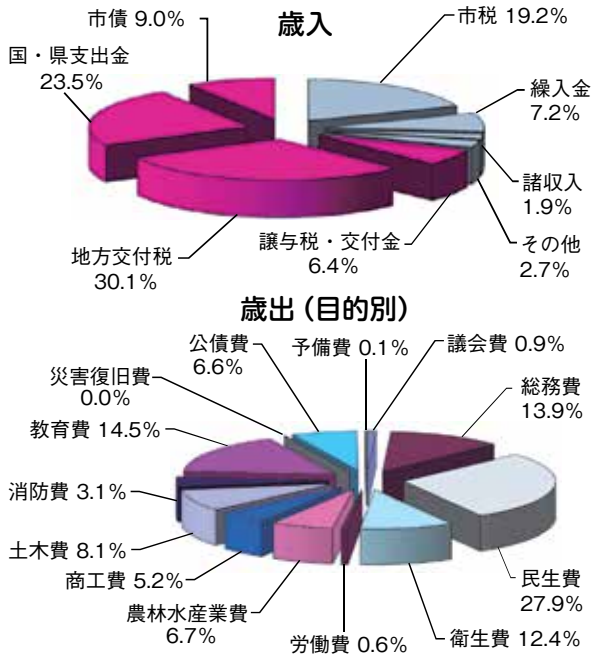
陳情

選択的夫婦別姓制度をただちに導入することを求めるよう国に意見書採択を求める陳情書ほか3件

不採択

令和7年度各会計予算決まる

自主財源
依存財源



令和7年度は、第六次大野市総合計画前期基本計画の総仕上げを行う年度です。住み続けたいまちとして持続することができるよう、今、何をすべきか考え、令和7年度当初予算を編成しました。

重点施策として、地域経済の活性化を目指した稼ぐ力の向上、こどもや若者・女性がイキイキと暮らせる取組、地域を支える人づくりと人材確保、誰もが安全・安心で快適に暮らせる取組、脱炭素の推進と気候変動への適応、行財政運営の最適化の推進に取り組みます。

会計名	予算額	対前年度増減率, %
一般会計	202億6500万円	△ 5.2
特別会計	79億2638万円	△ 2.6
企業会計	33億6668万円	16.6
総計	315億5806万円	△ 2.6

※特別会計は、国民健康保険事業や介護保険事業など5会計の合計額。企業会計は水道事業、簡易水道事業、下水道事業の3会計の合計額

令和7年度の重点施策と主な事業

地域経済の活性化を目指した稼ぐ力の向上

○稼ぐ力応援事業 1317万円

「結のビジネスプランコンテスト」の開催、商品の高付加価値化などに取り組む事業者支援

○観光地魅力向上事業 1100万円

誘客促進のための観光素材の磨き上げや、まちなか遠足の受け入れ、宿泊ありがとうキャンペーンの実施

こども・若者・女性がイキイキと暮らせる取組

○出産・育児スタート応援事業 3748万円

妊娠から育児期に係る健診費用等の助成、宿泊型・通所型・訪問型の産後ケア事業を実施

○暮らし住まいづくり支援事業補助 881万円

中古住宅の取得やリフォームに対して補助

地域を支える人づくりと人材確保

○旧乾側小学校等跡地活用事業 1億4480万円

旧乾側小学校体育館を活用し、(仮称)乾側地域交流センターを整備

○保育の職場づくり総合対策事業 791万円

保育士が働きやすい職場環境の改善や県外人材の確保などに対して補助、高校生や大学生の保育体験を実施

誰もが安全・安心で、快適に暮らせる取組

○市内路線バス等運行事業 7650万円

まちなか循環バスの定期券をデジタル化

○防犯灯設置事業 1008万円

防犯灯の電気料、LED化された防犯灯の更新費用に対して補助

脱炭素の推進と気候変動への適応

○木質バイオマス利用促進事業補助 100万円

薪ストーブやペレットストーブなどの木質バイオマス利用機器の導入に対して補助

○小中学校体育館空調整備事業 2356万円

小・中学校体育館への空調設置に向けた基礎調査、中学校体育館の空調設置に係る実施設計

行財政運営の最適化の推進

○公共施設等の再編 設置目的を終えた公共施設の解体



第442回臨時会が1月29日に開催されました。
今回の臨時会では、令和6年度一般会計補正予算案と専決処分の承認の2議案について審議しました。
審議結果は、14票のとおりです。

議案第1号 令和6年度大野市一般会計補正予算(第7号)案

議案第2号 専決処分の承認を求めることについて

(令和6年度大野市一般会計補正予算(第6号))

可決

承認

政治家が落成式、開店祝いに花輪を出すことは禁止されています。



はやし よりかず

林 順和議員

市政会

動画でチェック



OSORAの寒さ対策

問 屋内型こどもの遊び場・おおの天空パークOSORAの寒さ対策は。

答 授乳やおむつ交換を行うベビールームに空調設備を追加し、休憩スペースにはホットカーペットを設置するなど改善を図る。

身体障害者手帳等所持者への使用料値上げ

問 温泉、温浴施設の使用料改定により身体障害者手帳等所持者の値上げ幅が激変緩和措置（現行額の1.3倍）の上限を超えているが。

答 多くの市民に利用いただいていることから、急激な使用料の上昇を抑えるため、市民の使用料を700円とした。高齢者は100円引き600円に、障害者手帳等を持っている人は、近隣市町の温浴施設や公衆浴場の入浴料金490円を参考に200円引き、500円とした。

使用料の改定により利用者が減少しないよう、環境を整えていく。



九頭竜温泉・平成の湯

文化会館の今後の方針

問 文化会館に係る市の方針決定と教育委員会としての受け止めは。

答 3月中に提出される報告書の内容を踏まえ、令和7年度の早い段階で方針を決定したい。文化会館の整備に係る事務は、教育委員会部局から市長部局へ令和3年度に移管され、令和5年7月の

教育委員会定例会で検討状況の報告を受けた。教育委員会としては議論を見守っている。

学校のスキー教室復活

問 学校のスキー教室復活を求める声があるが、市長の考えは。

答 スキー教室は、和泉小学校、小山小学校や阪谷小学校で実施されており、実施するかどうかは各学校の判断による。



民間譲渡された九頭竜スキー場

民間譲渡する施設に対する運営支援

問 新規事業の譲渡施設運営補助において、九頭竜スキー場に対し予算措置されていない理由は。

答 無償貸与する圧雪車等の令和7年の残存価格は約2250万円と試算した。譲渡するパークホテル九頭竜と支援内容は異なるが、ともに年間指定管理料の2分の1の10年間分に相当するものであり、同等の支援策であると考えている。

九頭竜エリアの観光強化体制

問 和泉地域交流センター内に観光部門を。

答 観光部門を設置する予定はないが、中部縦貫自動車道の県内全線開通後の稼ぐ力の向上に向けて、地区内の事業者のさらなる連携が図られるよう協議の場を設定する。

温泉、温浴施設の障がい者への値上げ幅が激変緩和措置を超えているが



ささやま あきかず

笹山 晃一議員

大野市民の会

動画でチェック



農林業者への補助

問 農機具を購入し貸し出す仕組みを導入するなど、中小規模の農林業者を支援するための本市独自の補助制度を検討する予定は。

答 農林業の維持・発展には、国・県の情報収集や分析、市民ニーズの把握が必要である。特に農業分野では「越前おおの型食・農業・農村ビジョン」の改訂に向け、JA福井県や奥越農林総合事務所などの関係機関と連携し、本市の農業施策の在り方を調査研究する。

六呂師高原のキャンプ施設

問 六呂師高原への支援についてはどうか。

答 委嘱したアドバイザーより音楽フェス開催、星空デッキやフォトスポット整備の提案を受け、キャンプ場運営者が令和7年度に実施し、県や市は支援を予定している。市内で食材やアウトドア用品を調達予定。また、近隣施設や団体との連携、運営スタッフの雇用など具体的な話は進行中である。

地元からの水供給への懸念に対応するため、地下水調査費や設計費を計上する。

子育て支援の取り組み

問 近隣市町で子育て支援の独自政策が進んでいる中、本市の取り組みはどうか。

答 全国トップクラスの子ども医療費助成制度や独自の子育てライフサポート事業、障がいを持つ子どもの保育などに継続して取り組む。また、全ての公立保育園と希望される民間認定こども園における3歳以上の児童への主食提供の開始、小学校の施設改修と校内の余裕スペースを活用した放課後の居場所づくりに向けた取り組みの開始、出産後1年以内の

母子に対する産後ケア事業の実施などに取り組み、充実と強化を図る。

七間朝市の今後の方針

問 七間朝市について、行政として今後どのような方針で取り組まれるのか。

答 朝市出荷組合をはじめとした民間事業者の意欲や主体性が重要であると考え。そのため、令和5年度は意見交換を行い、若手有志のマーケット「七間楽市」のホームページ立ち上げ支援、令和6年度はインスタグラム開設の後押しや、出店体験者の募集、イベント周知にも協力している。今後も商工会議所と連携し、七間朝市の活性化を支援していく。



住民自治の検討

問 住民自治検討について、団体の委員や役員などが負担を感じている中で、仕事が増えるのではないかと不安の声もあるが、行政はどのような支援を行うのか。

答 住民自治活動を見直す機運が高まっていると考える。地域活動の人材となる市民の掘り起こしや、活動団体の委員・役員の負担軽減につなげ、現在の住民自治の体制や手法を見直す機会となることを目標としている。市民協働の側面から、その必要性に応じて行政として支援していく。

住民自治で団体委員や役員が仕事の増加を不安視しているが、見解はどうか



うめばやし あつこ

梅林 厚子議員

もえぎ会

動画でチェック



市長の政治姿勢・市政運営

問 残す就任期間への市政に臨む決意は。

答 市長就任以来「自然と人々が共にずっと生きていく、持続可能な地域づくり」を信条に、市民と考え、協働して施策を進めてきた。残る就任期間も私らしく、しなやかで力強く、きめ細かで優しいリーダーシップを発揮し、本市が住み続けたいまちとして持続できるよう全力を尽くす。

問 新たな視点「ウェルビーイング」等をどのように市民に伝えるのか。

答 「ウェルビーイング」は市民の幸福度や暮らしの満足度を測る物差しとして組み入れ、住み続けたいまち、イキイキと暮らせるまちづくりの進捗を把握し、新たな施策につなげる。

問 審議会・協議会など市長が構成員を委嘱する諮問機関についての考えは。

答 審議会等は、専門的な知識や技術の導入ができる。第三者の視点により公正な行政運営が行える。市民が積極的に市政に参画する機運の醸成が図れる。会議自体の統廃合、委員数、構成団体の見直し、公募枠の拡充や女性・若者の参画を進めている。

健全な財政運営

問 健全財政に向けて市長が力を入れていることは。

答 一定の基金残高を確保しつつ健全財政維持に努める。

こども分野

問 新規事業「学生有償保育ボランティア」とは。

答 学生を対象に、1園に1～2人の学生が5日間保育ボランティアに従事。市内全園で受け入れ、夏休みに実施。保護者には事前に理解を得る。

問 不登校児童・生徒の学習の場の保障は。

答 定期的な家庭訪問、面談、電話連絡など家庭生活の状況や学習ニーズを確認し支援している。自宅から授業へのオンライン参加、担任との学習課題のやりとり、タブレット端末を用いた学習、青少年教育センターで教科別の学習。児童・生徒や保護者の思いをくみ、場所や内容、量など本人が意欲を持てる支援をしている。

問 大阪・関西万博を校外学習に取り入れる考えは。

答 修学旅行行程に組み込む学校がある。

健幸福祉分野

問 ヘルスウォーキング今後の取り組みは。

答 令和7年度は参加者枠を400人増やし3330人に拡充。誰かに勧めたくなるような取り組みを進める。

地域経済分野

問 越前大野城の魅力向上の取り組みは。

答 まちなか観光のシンボルとして、越前大野城を活用した市全体のPRと、まちなかへの周遊促進を図る。

くらし環境分野

問 特殊性のある本市の地下水のマネジメントをどのようにしていくのか。

答 本市の貴重な地下水を将来に引き継ぐため、協議会を中心として関係者と連携強化を図り、地下水マネジメントを推進する。

行政経営部

問 一度も値上げをしていない上下水道料金。今後は。

答 本市上水道料金は、簡易水道料金を上水道と同一料金とするまで据え置く。下水道料金は、令和13年度まで経営維持が可能であることから改定は不要。

教育行政

問 ゼロ歳から18歳までをつなぐ教育とは。

答 それぞれの目的による教育活動の成果をつなぎ、切れ目のない保育、教育を推進するため、小・中・高等学校教職員の相互理解を図り、子どもたちの成長をつなぐ教育をする。

市長の政治姿勢と残る任期への取り組みについて問う



動画でチェック

いとう ゆきえ

伊東 由起恵議員

市政会



軟骨伝導イヤホンの導入について

問 高齢者や難聴者のために、本市の庁舎窓口に軟骨伝導イヤホンを導入してはどうか。

答 耳の穴をふさぐずに軟骨付近に軽く添えるだけで音を拾えるため、痛みや音漏れが少ないといった利点がある。県内でも市民窓口で試験的に導入している自治体があるので、各市町の検証結果を参考に、今後、導入の必要性を検討する。

带状疱疹ワクチン接種について

問 带状疱疹ワクチン接種を希望した場合、費用の自己負担額は。

答 ワクチン代など係る費用の2分の1を市が助成する予定。ワクチンは2種類あり、生ワクチンは4000円程度、組換えワクチンは2回接種が必要で、1回につき1万円程度の自己負担を想定。



動画でチェック

いのしま きよふみ

猪嶋 清文議員

大野市民の会



OSORAについて

問 利用状況と利用者の反応は。

答 オープンから1カ月で約8000人が来館し、そのうち大野市民が約3800人、市外からは約4200人である。施設が寒いという意見に関しては授乳室の空調を整備するなど、指定管理者と協議しながら改善していきたい。

空き家対策について

問 危険な空き家所有者への指導状況は。

答 年2回の指導書の送付、専門家による空き家相談会を年3回実施している。

問 緊急安全措置を行った事例は。

答 過去5年で19件実施している。事例としては豪雪時の屋根雪下ろしや、危険な部分の一部解体などである。



しらさき たかゆき

白崎 貴之議員

市政会

動画でチェック



田んぼダム

問 田んぼダムの取り組みに向けた水田整備工事の内容は。

答 田んぼダムは、水田が持つ多面的機能の一つである、雨水貯留機能を強化するもので、木本領家地区と御給地区、合わせて約25ヘクタールの水田において、流出量調整器具を取り付けることができる排水口に取り替える工事を実施する。

農業集落排水の統合

問 農業集落排水統合推進事業の内容は。

答 農業集落排水統合推進事業では、農業に利用する水を除外する減量メーターの設置などに必要な費用の一部を補助する補助金を計上している。



きしもと かずとし

岸本 一敏議員

大野市民の会

動画でチェック



雪に強い安全安心な地域づくりについて

問 市街地の幹線道路における圧雪処理や早期の排雪対応について伺う。

答 市街地の幹線道路における日中除雪への対応策や住民への周知方法について検討し、次年度の除雪体制構築に反映させる。

問 有終東小学校通学区域変更による児童の安全確保について伺う。

答 除雪担当課と教育委員会とで通学路情報を共有し、児童・生徒の安全確保を図る。

本市の観光ビジョンについて

問 本市の観光が目指す姿について伺う。

答 越前おおのブランドの磨き上げと開発、越前おおの観光ビューローの積極的な観光誘客、地域経済の好循環に向け努めていく。



動画でチェック

やまざき としあき

山崎 利昭議員

清風会



臨時休校措置

問 休校とするマニュアルはあるのか。

答 検討対象となる気象状況は、特別警報が発表された場合、大雨・強風・台風等の場合、暴風雪・大雪の場合、その他の場合が臨時休業等を判断する目安とする。

臨時休業等の判断は、学校教育法施行規則の規定に基づき、学校長が判断すること

を基本としている。

台風や大雪のように市内全小・中学校が対象となる場合、校長会と教育委員会が協議し、一斉に臨時休業や登下校時刻の変更などの措置を検討する。

保護者・市民の不安を軽減するためホームページなどで周知を行い、引き続き児童・生徒の安全が確保されるよう努める。



動画でチェック

きどや やよみ

木戸屋八代実議員

もえぎ会



にぎわい創出について

問 観光の目玉となってきた七間朝市の存続について、どのような施策を取っていくのか。

答 七間通りの関係者と意見交換を行い、令和5年度は若手有志が運営する七間楽市のホームページの創設を支援した。令和6年度は、インスタグラムの開設につなげた。意欲ある各事業者の活動エリアを朝市を含んでつなげる。

小・中学校体育館の空調設備設置について

問 今後のスケジュールはどのように進めるのか。

答 年度の前半で、小・中学校体育館11棟の空調設備導入のための基礎調査を行う。モデル校2校を抽出し、概算事業費や維持管理コストなどの費用を算出する。中学校2校は、利用頻度が高いことから早期の整備を目指し、年度後半で空調工事の実施設計を行う。



のむら まさと

野村 勝人議員

無会派

動画でチェック



関西万博子ども無料招待事業について

問 万博会場の建設現場でガス爆発があり、団体バス乗降場から西ゲートに向かう児童・生徒の歩行ルート付近のガス抜き管からは、爆発濃度に達するメタンガスが出ている。排気管を高くし分散する対策を取るとのことだが、こんなところで万博を開いていいのか問われている。

県は、校外学習で万博訪問を予定する公

立小・中学校に希望人数分のチケットを配るというが、修学旅行での参加についてどのように考えるか。

答 修学旅行の行程に組み込んでいる学校がある。学校では、非常時の対応について、的確な判断ができるよう、必ず事前に避難経路の確認をし、安全で有意義な楽しい行事となるよう計画し、実施する。



ひろた かずのり

廣田 憲徳議員

清風会

動画でチェック



令和6年火災救急救助統計について

問 消防行政の在り方について。

答 消防には市民から年間約1500件の119番通報がある。われわれにとって1500分の1の通報だが、通報者にとっては一生に滅多にない緊急の状況で助けを求められている。

この求めにしっかり寄り添っていくこと

が、われわれ消防職員55人の使命である。

人口減少、少子化対策について

問 県内移動による社会増減が6年連続で県内市町で最下位となっている要因は。

答 大野から出ていくのはなぜか。親から「大野なんて何も無いから都会へ行け」と言われた人の話を聞いたことがある。

10代後半から20代前半の若者が流出し、男性よりも女性が多く流出している。



動画でチェック

ほりた しょういち

堀田 昭一議員

清風会



「大野市こども・若者計画」について

問 計画の当初予算への反映は。

答 ①こどもから若者までの共通する支援、②結婚支援、③妊娠・出産支援、④乳・幼児期の支援、⑤学童期の支援、⑥保護者への支援について計上した。計画策定後も、子どもや若者たちの意見を聞く機会を設け、柔軟に子育て支援施策に取り組む。

インバウンド誘客促進について

問 誘客促進の取り組みと今後の展開は。

答 民間事業者や関係団体等で構成する戦略策定検討委員会を設置する。民間事業者が取り組む体験プログラムの充実や外国人観光客が市内の観光スポットを周遊する施策などを検討する。



動画でチェック

たかおか かずゆき

高岡 和行議員

もえぎ会



市長の政治姿勢

問 人口減少・少子高齢化についての見解。

答 人口維持増加策と人口減少適応策の両面から総合的に検討していく。

問 自主財源比率が低いがどうか。

答 自主財源の増額にたどり着いていないのが現状である。

問 職員の定数は、定数条例にのっとっては適正な数字とのことだが、富山県滑川市は人口3万2000人で職員数214人、愛知県高浜市は人口4万9000人で職員数281人、兵庫県西脇市は人口3万9000人で職員数229人である。

本市は人口3万人で職員数328人であるが、適正と言えるのか。

答 適宜改正する事が生じたら検討したい。

くらし産業常任委員会 審査報告

(◎伊東、○笹山、岸本、林、廣瀬、野村、堀田、梅林)

【温浴施設の使用料改正】

◎市の説明

うらら館、フレアール和泉、平成の湯の使用料を、使用料・手数料に係る受益者負担の算定基準に基づき値上げするため、条例改正する。

その内容は、中学生以上の市民の使用料を現行の600円から700円に、障害者手帳を持っている中学生以上を500円にするなどである。

◎委員の意見

障がい者の利用が減らないよう健幸福祉部と協議されたい。利用者への支援策を行う場合は、当委員会にも報告されたい。



六呂師高原トロン温浴施設うらら館

【文化会館あり方検討委員会の報告】

◎市の説明

2月に第7回文化会館あり方検討委員会が開催され、市に対する報告書が、検討委員全員の意見を反映した内容で調整されている。

◎委員の意見

市民を代表する検討委員の生の声を反映させた報告書が作成されることを期待する。

文化会館の在り方については、早い時期に市の方針を示されたい。

総文厚生常任委員会 審査報告

(◎帰山、○白崎、猪嶋、木戸屋、山崎、高田、廣田、高岡)

【児童センター土曜開所の集約化】

◎市の説明

市街地に4施設ある児童センターは、土曜日の利用は少なく、運営効率が悪いことや指導員の確保が困難な状況であることから、試行した結果、令和7年度より、学校の夏休みなどの長期休業期間も含めて、土曜日の開所を2施設に集約する。



東部児童センター

【休日部活動の地域移行における スクールバスの利用等】

◎市の説明

休日部活動の地域移行は、これまでの課題を踏まえ、スクールバスの利用、会場の確保や使用料など、関係団体や関係課と連携し、地域クラブの活動が継続できるよう取り組む。

◎委員の意見

スクールバス利用の具体的な説明を求める。

◎市の答弁

令和6年度は公式大会参加において利用した。令和7年度は、県内の遠方にある施設で練習試合を行う場合、利用条件等を整理した上で、スクールバスを目的外利用で使えるようにしたい。



総括質疑

(◎山崎、○林、議長を除く議員)

予算特別委員会報告

【旧乾側小学校等跡地活用事業】

◎委員の質問

旧乾側小学校等跡地活用事業において、補助金の内示額が予定を下回った場合の対応策は。

また、体育館改修の屋根塗装や省エネガラス工事を中止することは施設の長寿命化、ZEB化の観点に逆行していないか。

◎市の答弁

補助金の内示額が予定を下回った場合、国庫補助金の追加配分を要望し、財源の確保に努めるほか、都市構造再編集中支援事業の対象事業全体の中で、有利となる財源の調整及び確保に努めていきたい。

体育館については、消費エネルギーのほとんどが照明用電力であり、エネルギー削減効果が低いと見込まれたことから、今回のZEB化工事の対象としておらず、改修に当たっては、施設の状況確認の結果と改修内容の優先度を考慮し、屋根塗装や省エネガラス改修工事などについては取りやめた。

【観光交流課関連事業の委託料および負担金補助及び交付金】

◎委員の質問

観光交流課関連事業の委託料および負担

金補助及び交付金の合計は。また、事業実施後の評価の必要性をどのように考えているのか。

◎市の答弁

観光交流課所管事業の委託料の合計は約2億1032万円、負担金補助及び交付金の合計は約7538万円である。事業実施後の評価の必要性については、内部での精査が主となるが、観光誘客に最も大事なことは、本市を知ってもらうための情報発信であり、効率的で効果的な情報発信ができるよう当初予算を計上している。これからも、しっかりと評価していきたい。

【各小学校の旧タブレット端末の取り扱い】

◎委員の質問

タブレット端末更新時の旧タブレット端末の取り扱いはどのようになっているか。

◎市の答弁

旧タブレット端末の取り扱いについては、県が作成した仕様書では、企画提案者に対し、既存端末の下取り価格や下取りスケジュールなどを提案させるとなっており、今後は、県で選定された事業者とタブレット端末の各小学校への配置をスムーズに行えるよう連携を密にし、ICTを活用した児童の学びを推進していく。

くらし産業分科会

(◎伊東、○笹山、岸本、林、廣瀬、野村、堀田、梅林)

【道の駅越前おおの荒島の郷管理運営経費】

◎市の説明

道の駅の指定管理料1880万円のほか、モンベルが運営しているカヌー池の清掃やクライミングピナクルの安全装置の点検経費などが計上されている。

◎委員の意見

カヌー体験やクライミング体験なども生かしつつ、道の駅の来場者数を増やす工夫をされたい。



道の駅「越前おおの荒島の郷」カヌー体験

総文厚生分科会

(◎帰山、○白崎、猪嶋、木戸屋、山崎、高田、廣田、高岡)

【生涯スポーツ推進事業について】

◎委員の意見

最近、スポーツ推進に係る新規事業がないのではないか。

◎市の説明

ピラティス教室やeスポーツ体験会の実施、エキサイト広場ではトレーニングルーム機器の充実を図っている。

今後は、高齢者向けのトレーニング教室を実施するなど、新たな取り組みを行いたい。



ピラティス教室

令和7年1月第442回臨時会 議案等の審議結果及び各議員表決

議案番号・議案名			議員名（議席番号順）	議決結果	笹山晃一	堀山寿章	猪嶋清文	岸本一敏	白崎貴之	木戸屋八代美	林順和	廣瀬浩司	伊東由起恵	山崎利昭	野村勝人	高田育昌	廣田憲徳	堀田昭一	梅林厚子	高岡和行
市長提出議案	1	令和6年度大野市一般会計補正予算（第7号）案		可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○
	2	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度大野市一般会計補正予算（第6号））		承認	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○

議長(高田育昌)は採決に加わらないので「/」で表示。欠席は「欠」と表示。議案に賛成○、反対×

令和7年3月第443回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

全会一致で可決・承認・同意とした議案等

議案番号	議決結果	議案名	議案番号	議決結果	議案名
市長提出議案	4	可決 令和7年度大野市国民健康保険事業特別会計予算案	48	可決	大野勤労者体育施設設置条例の一部を改正する条例案
	5	可決 令和7年度大野市和泉診療所事業特別会計予算案	50	可決	大野市麻那姫湖青少年旅行村設置条例の一部を改正する条例案
	6	可決 令和7年度大野市後期高齢者医療特別会計予算案	51	可決	大野市まちなか観光拠点施設設置条例の一部を改正する条例案
	7	可決 令和7年度大野市介護保険事業特別会計予算案	53	可決	大野市和泉前坂家族旅行村設置条例の一部を改正する条例案
	8	可決 令和7年度大野市水道事業会計予算案	54	可決	越前おおの結ステーション設置条例の一部を改正する条例案
	9	可決 令和7年度大野市簡易水道事業会計予算案	55	可決	大野市城下町東広場設置条例の一部を改正する条例案
	10	可決 令和7年度大野市下水道事業会計予算案	56	可決	大野市化石発掘体験センター設置条例の一部を改正する条例案
	11	可決 令和6年度大野市一般会計補正予算(第9号)案	57	可決	大野市特用林産物生産・加工施設設置条例の一部を改正する条例案
	12	可決 令和6年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)案	59	可決	大野市公民館設置条例の一部を改正する条例案
	13	可決 令和6年度大野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)案	61	可決	大野市ふるさと自然の家設置条例の一部を改正する条例案
	14	可決 令和6年度大野市介護保険事業特別会計補正予算(第5号)案	62	可決	大野市和泉地域交流センター設置条例の一部を改正する条例案
	15	可決 令和6年度大野市水道事業会計補正予算(第3号)案	63	可決	大野市立学校施設の利用に関する条例の一部を改正する条例案
	16	可決 令和6年度大野市下水道事業会計補正予算(第3号)案	64	可決	大野市青少年教育センター設置条例の一部を改正する条例案
	17	可決 大野市犯罪被害者等支援条例案	65	可決	大野市児童館設置条例の一部を改正する条例案
	18	可決 大野市職員等の旅費に関する条例の全部を改正する条例案	66	可決	大野市生涯学習センター設置条例の一部を改正する条例案
	19	可決 大野市一般職の職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例案	67	可決	大野市自然体験活動施設設置条例の一部を改正する条例案
	20	可決 大野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例案	69	可決	大野市税賦課徴収条例の一部を改正する条例案
	21	可決 大野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	70	可決	大野市債権管理条例の一部を改正する条例案
	22	可決 大野市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	71	可決	大野市介護保険条例の一部を改正する条例案
	23	可決 大野市恩給条例等の一部を改正する条例案	72	可決	大野市和泉診療所設置条例の一部を改正する条例案
	24	可決 大野市立集会所設置条例の一部を改正する条例案	73	可決	大野市休日急患診療所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案
	25	可決 大野市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例案	74	可決	大野市水道給水条例の一部を改正する条例案
	26	可決 大野市重症心身障害児(者)福祉手当支給条例の一部を改正する条例案	75	可決	大野市公共下水道条例の一部を改正する条例案
	27	可決 大野市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例等の一部を改正する条例案	76	可決	大野市手数料条例の一部を改正する条例案
	28	可決 大野市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	77	可決	大野市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例案
	29	可決 大野市水に関する学習研究施設設置条例の一部を改正する条例案	78	可決	大野市過疎地域持続的発展計画の変更について
	30	可決 大野市水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例案	79	可決	大野市防災行政無線(同報系)整備工事請負契約の変更について
	31	可決 大野市和泉体育施設設置条例を廃止する条例案	80	可決	開成中学校長寿命化改良(統合)工事請負契約の変更について
	32	可決 大野市国民休養地設置条例を廃止する条例案	81	可決	陽明中学校長寿命化改良(統合)工事請負契約の変更について
	33	可決 大野市庁舎市民ホールの利用に関する条例の一部を改正する条例案	82	可決	財産の譲渡について
	34	可決 多田記念大野有終会館設置条例の一部を改正する条例案	83	可決	財産の譲渡及び貸付について
	36	可決 大野市体育施設設置条例の一部を改正する条例案	84	可決	福井県市町総合事務組合規約の変更について
	37	可決 大野市エキサイト広場総合体育施設設置条例の一部を改正する条例案	85	承認	専決処分の承認を求めることについて(令和6年度大野市一般会計補正予算(第8号))
	38	可決 大野市上大納スポーツランド設置条例の一部を改正する条例案	86	可決	令和6年度大野市一般会計補正予算(第10号)案
	39	可決 大野市B&G海洋センター設置条例の一部を改正する条例案	87	同意	監査委員の選任について
	40	可決 大野市立学校体育施設の開放に関する条例の一部を改正する条例案	88	同意	人権擁護委員候補者の推薦について
	41	可決 大野市職業訓練センター設置条例の一部を改正する条例案	市会案	1	可決 大野市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例案
	42	可決 大野市道の駅九頭竜設置条例の一部を改正する条例案		2	可決 公共施設の除却等に対する支援の強化を求める意見書について
	43	可決 大野市道の駅越前おおの荒島の郷設置条例の一部を改正する条例案			

各議員の表決が分かれた議案等

議案番号・議案名			議員名（議席番号順）	議決結果	笹山晃一	堀山寿章	猪嶋清文	岸本一敏	白崎貴之	木戸屋八代実	林順和	廣瀬浩司	伊東由起恵	山崎利昭	野村勝人	高田育昌	廣田憲徳	堀田昭一	梅林厚子	高岡和行
市長提出議案	3	令和7年度大野市一般会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	／	○	○	○	○
	35	大野市健康保養施設設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	／	○	○	○	○
	44	越前大野城設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	／	○	○	○	○
	45	武家屋敷旧山家設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	／	○	○	○	○
	46	武家屋敷旧田村家設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	／	○	○	○	○
	47	和泉郷土資料館設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	／	○	○	○	○
	49	大野市ファミリーリゾート休養施設設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	／	○	○	○	○
	52	大野市九頭竜保養の里設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	／	○	○	○	○
	58	本願清水イトヨの里設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	／	○	○	○	○
	60	大野市文化芸術交流施設設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	／	○	○	○	○
	68	大野市博物館設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	／	○	○	○	○
陳情	1	選択的夫婦別姓制度をただちに導入することを求めるよう国に意見書採択を求める陳情書	不採択	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	賛	／	否	否	否	否
	2	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	不採択	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	賛	／	否	否	否	否
	3	従来(紙)の健康保険証の発行存続を求める意見書提出の陳情	不採択	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	賛	／	否	否	否	否
	4	訪問介護報酬引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを国に求める意見書提出の陳情	不採択	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	賛	／	否	否	否	否

議長（高田育昌）は採決に加わらないので「／」で表示。議案に賛成○、反対×
陳情の願意を賛成とする場合「賛」、願意を否とする場合「否」



議会傍聴をお待ちしています

3階の議会事務局で受け付けをしてください。

次回、6月定例会は
6月2日(月)～6月24日(火)に
開会予定です。

日	月	火	水	木	金	土
6/1	2 本会議10:00～ (開会) 特別委員会 (予算) ●ライブ配信	3 議案調査	4 議案調査	5 議案調査	6 議案調査	7
8	9 本会議10:00～ (一般質問) POINT ●ライブ配信	10 本会議10:00～ (一般質問) POINT ●ライブ配信	11 常任委員会 (くらし産業) 特別委員会 (予算分科会)	12 常任委員会 (総文厚生) 特別委員会 (予算分科会)	13 委員会予備日	14
15	16 委員会予備日	17 委員会予備日	18 特別委員会 (中部縦貫自動車道 等交通対策) (こども政策・ 公共施設等改革)	19 特別委員会 (予算)	20 委員会予備日	21
22	23 委員会予備日	24 本会議10:00～ (閉会) ●ライブ配信	25	本会議をライブ配信します /@OnoCityCouncil 		

※日程や会議時間は、予定のため変更になる場合があります。

政治家が配偶者や秘書名義で選挙区内にある者に対して寄付をすることは禁止されています。

中部縦貫自動車道等交通対策 特別委員会報告

◎林、○猪嶋、帰山、山崎、廣田、梅林、高岡

【市内交通量の調査結果】

◎市の説明

中部縦貫自動車道の開通の効果や影響を検証するため、市内10カ所で調査した結果、大野ICの乗り降りが最も交通量が多く、主要な道路として利用されていることが確認できた。

◎委員の意見

今後の要望活動やまちづくりに利用可能なデータを蓄積できるよう、令和8年度以降の調査方法を整理されたい。

こども政策・公共施設等改革 特別委員会報告

◎笹山、○白崎、岸本、木戸屋、廣瀬、伊東、野村

【公共施設の適切な管理運営】

◎委員の意見

公共施設の再編は進めていかなければならないが、施設の廃止や譲渡等による不安が地域住民にはあり、しっかりと説明・周知して進められたい。

公共施設再編で困難となるのは地元との合意形成に向けた調整であると考え、住民への説明はどの段階で入るのか。

◎市の説明

住民への説明は、計画を立てて施設の方向性が決まった段階と、実際に施設を廃止等するタイミングの2回あると考えている。施設の種類により住民の思いも違うと捉えており、丁寧に進めていきたい。

国道158号要望活動

国道158号境寺・計石バイパスの一日も早い整備を実現するため、高田議長と中部縦貫自動車道等交通対策特別委員会の林委員長が、1月23日は福井市長と福井市議会議長に、1月27日は福井県土木部長と福井土木事務所長に対して、要望活動を行いました。



福井県土木部長に要望

また、3月19日に岐阜県境近くの上半原地係で大規模な斜面崩壊が発生したことから、3月24日に高田議長と石山市長が知事と奥越土木事務所長に対して、早期復旧の緊急要望を行いました。

福井県市議会議長会 定期総会

1月30日に、本市のフレアール和泉において、福井県市議会議長会の令和7年2月定期総会が開催されました。

本市提出の「中部縦貫自動車道の早期県内全線開通及び予算確保について」を含めた15議案が各市から提出され、全てが原案どおり可決されました。

また、同会規定による表彰式が行われ、市議会からは、堀田昭一議員、廣田憲徳議員、野村勝人議員、山崎利昭議員が、議員在職10年表彰を受賞しました。



編集後記

第443回定例会が終わり令和7年度の予算は可決、成立しました。議決までには各議員、各常任委員会において慎重に審議を致しました。今後は、市民の血税でもあるこの予算がどのように使われ、市民サービス等につながるのかをしっかりとチェックしてまいります。また、議員の質問に関しては、さらに詳しく知っていただきますよう二次元コードを記載してありますので、ご覧ください。市民に開かれた議会を目指し、引き続き議会改革にも取り組んでいきます。

(座長 梅林厚子)



市議会HP

議会だより編集委員会
座長 梅林厚子
委員 笹山晃一
白崎貴之
山崎利昭

※次回は、7月下旬の
発行を予定しています。